



株式会社クレオ

みなさまと共創していく、これからの未来
We want to create the future with you.

第46期 Business Report

2018年4月1日～2019年3月31日

株式会社クレオ

証券コード：9698



代表取締役社長
柿崎 淳一

グループの総合力をさらに強化して、持続的な成長を目指してまいります

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、中期経営計画の中間年度にあたる2019年3月期において、グループ総合力の発揮を重点課題と位置付け、事業運営にあたりました。中期経営計画の目標達成に努めるとともに、創業50周年を迎える2024年に向けた経営ビジョン「VISION2024」の下、100年企業を目指し、持続的な成長を可能とする変革を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Q 2019年3月期の市場環境と業績について教えてください。

A ICTサービス市場では、ビジネスのデジタル化に向けてICT活用の重要性に対する認識が高まり、社会全体および企業経営において活発なICT投資が行われました。また、政府が強く推進する働き方改革の流れの中で、当社が強みを有する人事給与と就業の管理システムに対する需要は旺盛に推移しました。

こうした環境下で、2019年3月期の経営成績は、全セグメントにおいて増収増益を達成することができました。売上高は135億26百万円(前期比10.3%増)、営業利益は6億70百万円(前期比63.3%増)、経常利益は7億6百万円(前期

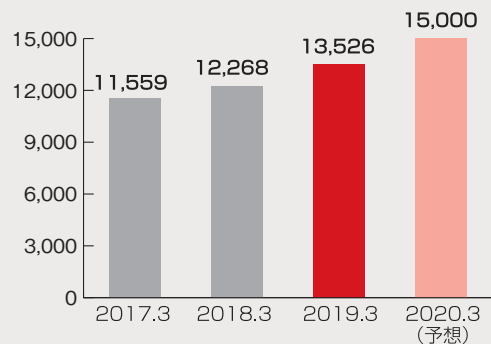
比54.3%増)となりました。また、法人税等調整額の計上による税負担の軽減もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は6億64百万円(前期比117.4%増)となりました。

Q 現在取り組んでおられる中期経営計画について、進捗はいかがでしょうか。

A デジタル化が進展する中で、各部門が製品・サービスを単品展開しては、お客様に高い付加価値を提供することはできません。そこで、現在の中期経営計画がスタートした2017年4月に、当時の連結子会社5社を当社と合併し、組織の再編を行いました。各部門の垣根を取り払い、グループの総合力を発揮して、利益の創出に取り組んで

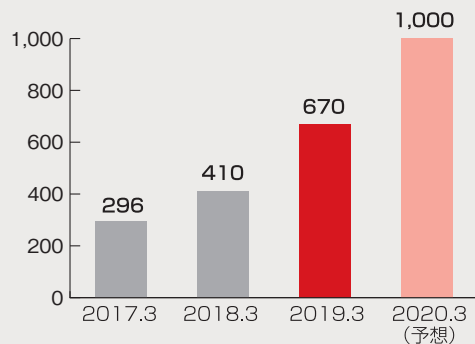
売上高

(単位：百万円)



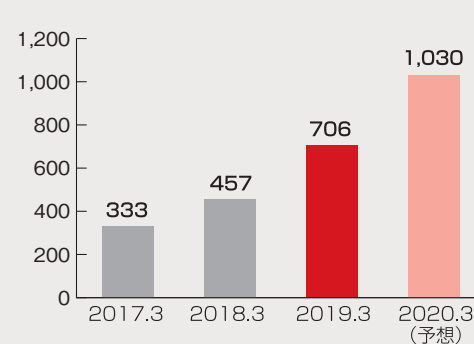
営業利益

(単位：百万円)



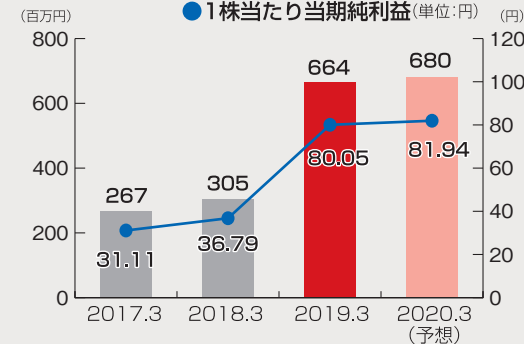
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



います。「モノ」から「コト」への転換、すなわち個々の製品・サービスの提供から複合的なソリューションの展開によってお客様のニーズをより深く取り込み、成長力の強化に努めています。

本計画2年目の2019年3月期は、その成果がはっきりと表れました。特に本計画において成長事業と位置付けたソリューションサービス事業では、新体制において社員の意識改革が進み、大型商談の受注による大幅な増益が実現するなど、成長力を実感することができました。

中期経営計画基本方針

実感できる成長力

グループ総合力

安定した株主還元

コーポレート・ガバナンス強化

Q 中期経営計画最終年度となる2020年3月期の取り組みについて教えてください。

A グループ総合力をさらに発揮するために、セグメントごとのビジネスモデルを超えて、ボーダーレスな仕組みづくりを進めています。システム開発からソリューションサービス、サポートサービスまでを一気通貫でお客様に提供することで、本計画の数値目標である、売上高150億円と、過

去最高益8億80百万円を上回る営業利益10億円の達成を目指すとともに、次の中期経営計画への土台づくりに取り組んでまいります。

Q それでは、持続的な成長を目指した中長期の施策をお聞かせください。

A 当社は、2024年に迎える創業50周年を折り返し点として、100年企業に向けた取り組みを行っています。

当社の創業以来の強みとしては、お客様との価値共創による製品・サービスの開発が挙げられます。人事と給与のデータベースが一体となった人事・給与システムも、お客様のご意見を取り入れ、当社が開発した製品です。今後は、さらに業種業態を超えた連携を構築し、「つながる力」を強化してまいります。

また、お客様との価値共創には、お客様と接する「人財」への投資が重要となります。健康経営やワークライフバランスを推進し、働くための環境整備を図るとともに、人財教育については、デジタルビジネスへと舵を切るお客様の変化に対応できるよう、イノベーションの創出を可能にする人財教育の強化を進めております。明日のクレオを担う人財を育成し、新しい価値を「つくる力」を養ってまいります。

当社は、「つながる力」と「つくる力」をボーダーレスに強化して、持続的な成長を実現してまいります。

Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

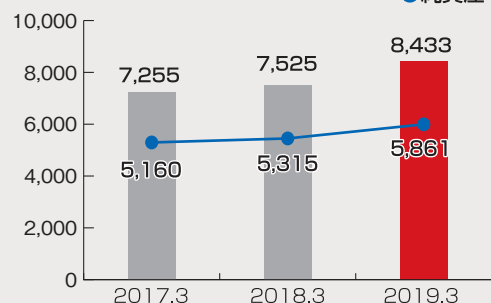
A 当社は、中期経営計画のコンセプトにおいて、すべてのステークホルダーの皆様との「つながり」を大切にしています。株主の皆様との対話を通して「つながり」を深め、「魅力あるクレオ」の実現によって企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



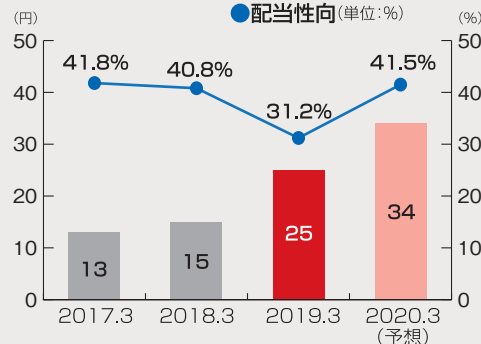
総資産／純資産 (単位：百万円)

●純資産



1株当たり配当金 (単位：円)

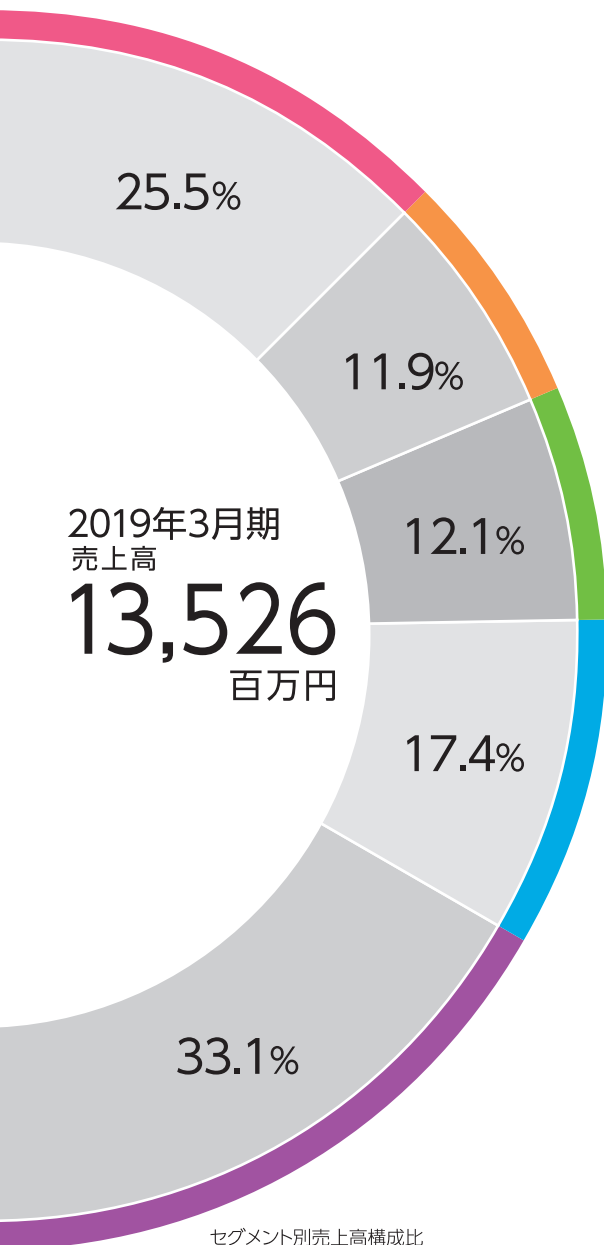
●配当性向 (単位：%)



利益配分に関する基本方針と当期の配当について

当社は株主の皆様への剰余金処分を経営の重要な政策の一つとして考えております。配当に関しては長期的な視点に立ち、連結経営成績に応じた安定的な利益の配分を基本方針としております。また、株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向40%を目標としております。

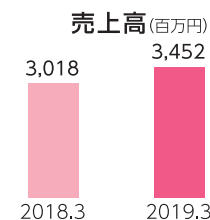
2019年3月期については、1株当たりの配当金を、前期比10円増配の25円といたしました。配当性向については、当期純利益の増加に繰延税金資産の計上などの要素が含まれ、一過性の内容かつ現預金の増加を伴うものではないことから、上記方針に照らし総合的に勘案した結果、31.2%となりました。



ソリューションサービス事業

売上高 **3,452** 百万円 営業利益 **593** 百万円
前期比 14.4%増 前期比 43.3%増

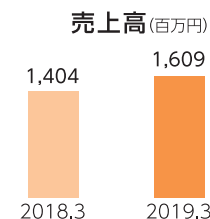
製品・サービスの複合的な営業提案による大型商談受注などにより、売上高は前期比で4億34百万円増加、営業利益は前期比で1億79百万円増加しました。



受託開発事業

売上高 **1,609** 百万円 営業利益 **332** 百万円
前期比 14.6%増 前期比 24.3%増

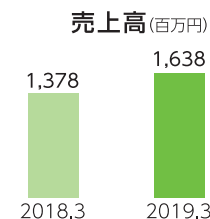
主要既存顧客からの堅調な受注増加に伴い、売上高は前期比で2億5百万円増加、営業利益は前期比で65百万円増加しました。



西日本事業

売上高 **1,638** 百万円 営業利益 **170** 百万円
前期比 18.9%増 前期比 21.8%増

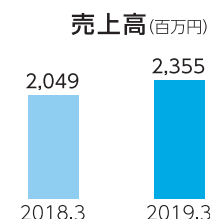
ソリューションサービスの堅調な受注などにより、売上高は前期比で2億60百万円増加、営業利益は前期比で30百万円増加しました。



システム運用・サービス事業

売上高 **2,355** 百万円 営業利益 **160** 百万円
前期比 14.9%増 前期比 19.8%増

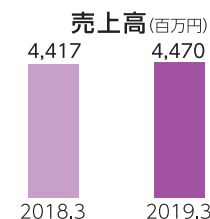
大型案件の受注や受注単価の向上などにより、売上高は前期比で3億6百万円増加、営業利益は前期比で26百万円増加しました。



サポートサービス事業

売上高 **4,470** 百万円 営業利益 **217** 百万円
前期比 1.2%増 前期比 9.9%増

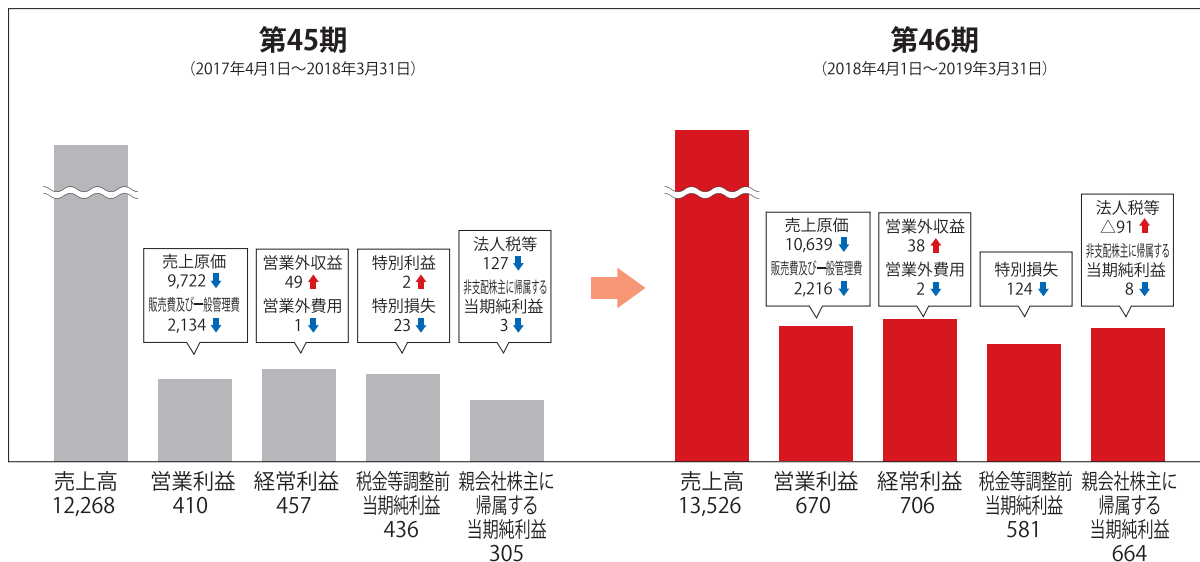
テクニカルサポートの受注拡大などにより、売上高は前期比で52百万円増加、営業利益は前期比で19百万円増加しました。



財務データ

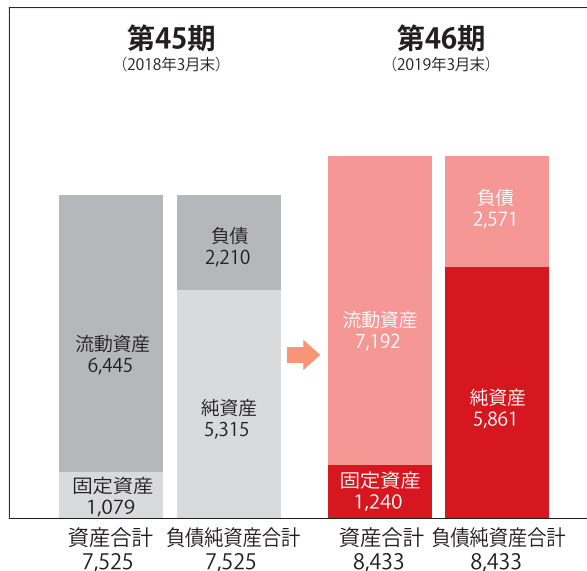
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



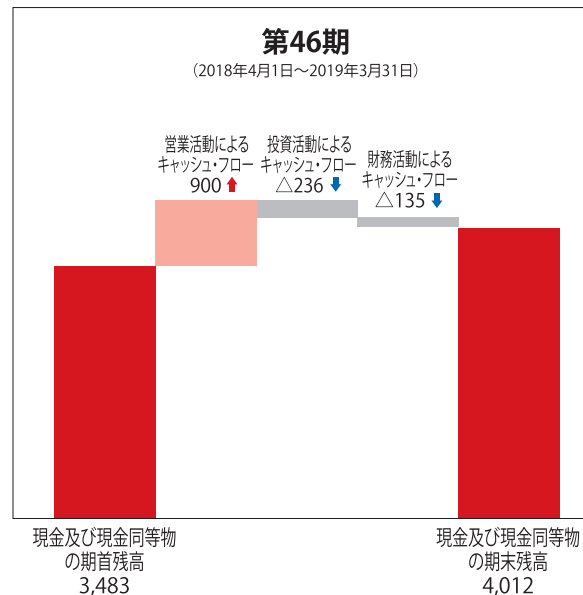
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



	第45期	第46期
経営成績 (単位:百万円)	売上高	12,268
	売上総利益	2,545
	営業利益	410
	経常利益	457
	税金等調整前当期純利益	436
	親会社株主に帰属する当期純利益	305
財政状態 (単位:百万円)	資産合計	7,525
	流動資産	6,445
	固定資産	1,079
	負債合計	2,210
	流動負債	2,067
	固定負債	142
	純資産合計	5,315
		5,861
キャッシュ・フロー (単位:百万円)	営業活動によるキャッシュ・フロー	429
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△109
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△165
	現金及び現金同等物の期末残高	3,483
		4,012
1株当たり情報 (単位:円)	1株当たり当期純利益	36.79
	1株当たり純資産	636.37
	1株当たり配当金	15.00
財務指標	自己資本当期純利益率 (ROE)	5.9%
	総資産経常利益率 (ROA)	6.2%
	自己資本比率	70.2%

TOPICS 1 「CREO USERS FORUM 2018」を開催

当社は2018年、「共創」を理念として、ユーザーの皆様とともにイノベーションを創出することを目的に、これまでの「ZeeM ユーザー会」の主旨、想いを引き継ぎ、新たに「クレオユーザー会」を発足させました。

そして同年10月には、「CREO USERS FORUM 2018」を、ベルサール東京日本橋（東京都中央区）にて開催。第1回目フォーラムとなった今回は、「変革」をテーマとして、ITがビジネスに対する価値基準を今後どのように変えていくのか、そしてどのように変わっていくべきか、について講演を実施し、当日は多くのユーザーの皆様にご参加いただきました。



TOPICS 2 ベトナムのIT企業Ominext JSCと資本・業務提携に関する基本合意書を締結

当社は2018年11月に、ベトナムのIT企業 Ominext Joint Stock Company（本社：ベトナム ハノイ市）と資本・業務提携に関する基本合意書を締結しました。Ominext社は日本企業を顧客とした医療、ヘルスケアシステム開発において豊富な実績を持ち、ベトナムソフトウェア協会が選定する「Vietnam's 50 Leading IT Companies」に2016年から2018年まで3年連続で選ばれるなど、成長著しいスタートアップ企業です。

当社は、Ominext社との資本・業務提携を通じて、優秀な人財を安定的に確保する体制を築くとともに、両社グループ間での人材交流などを通してグローバル事業の展開に向けた基盤構築を進めてまいります。



TOPICS 3 経済産業省「健康経営優良法人2019 ホワイト500」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人（大規模法人部門）2019ホワイト500」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人の中で特に優良な健康経営を実践している法人を健康経営のリーディングカンパニーとして評価・認定する制度です。2019年度は当社を含む821法人が認定を受けました。

当社は、社名の由来でもある「創造」を支えるのは社員の健康であると考え、最重要資産である社員（人財）が心も体も健康であり続け、長い期間に渡り生き生きと活躍できるよう、継続的な健康の保持・増進に取り組んでいます。これからも社員やその家族、お客様の幸せを最大化し、豊かな未来社会の実現に貢献してまいります。



会社概要／株式の状況

◆会社概要

商 号	株式会社クレオ
所 在 地	東京都品川区東品川四丁目10番27号
役 員	(2019年6月25日現在)
代表取締役社長	柿崎 淳一
取締役会長	阿南 祐治
専務取締役	寺崎 功
社外取締役	井原 邦弘
社外取締役	天野 宏
社外取締役	春木 謙一
常勤監査役	雨田 高志
社外監査役	宮澤 求(公認会計士)
社外監査役	渡辺 伸行(弁護士)
設 立	1974年3月22日
資 本 金	3,149,650千円
連結売上高	13,526百万円 ※2019年3月期実績
従 業 員 数	連結 1,121人 単体 446人

◆株式の状況 (2019年3月31日現在)

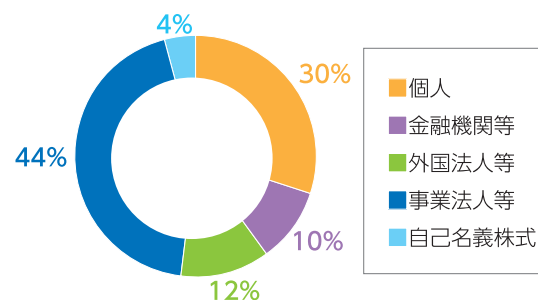
発行済株式総数 8,650,369株
株主数 1,596名

大株主 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アマノ株式会社	2,645	31.9
ヤフー株式会社	1,100	13.3
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	377	4.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	243	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	207	2.5
クレオ従業員持株会	173	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	140	1.7
外池 栄一郎	133	1.6
三木 美枝	130	1.6
和田 正次	117	1.4

(注) 1. 当社は自己株式を351千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算(小数点第二位を四捨五入)しております。

所有者別株主分布状況



◆WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。



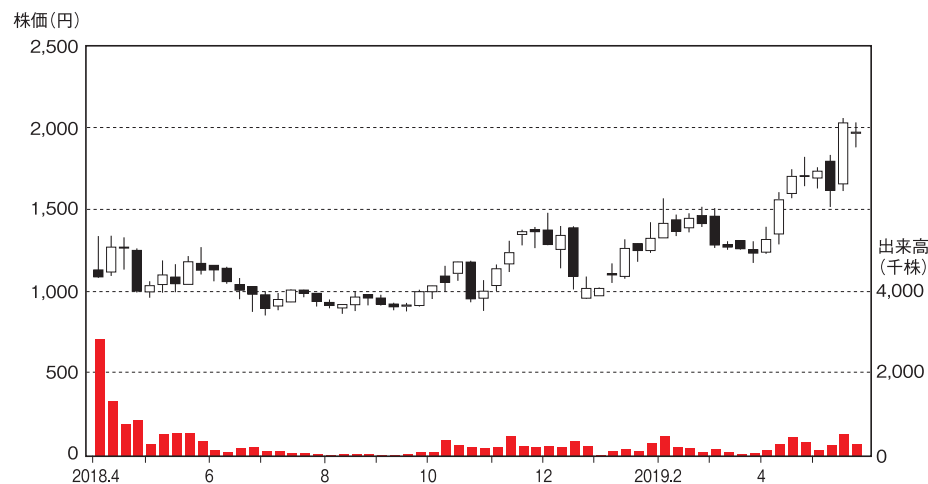
<https://www.creo.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL https://www.creo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株価と出来高の推移



理念・行動規範

企業理念

私たちは、「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動！」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指します。

行動指針

～幸せな企業人であり続けるための7つの行動～

1. 感謝の気持ちを忘れない
2. 信頼すること、されることを重んじる
3. いつも誠実に行動する
4. 心も技術も磨き続ける
5. より健康であり続ける
6. 恐れずに何ごとにも挑戦する
7. 仕事にも社会にも人生にも成果を出す



このロゴには、3つの「想い」が込められています。

1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク(感嘆符)をかたどりました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき(新・結合=イノベーション)を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人財、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

1つは「永遠(とわ)」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様に関わり添う企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様に関わり添っているというイメージを表現しています。社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。